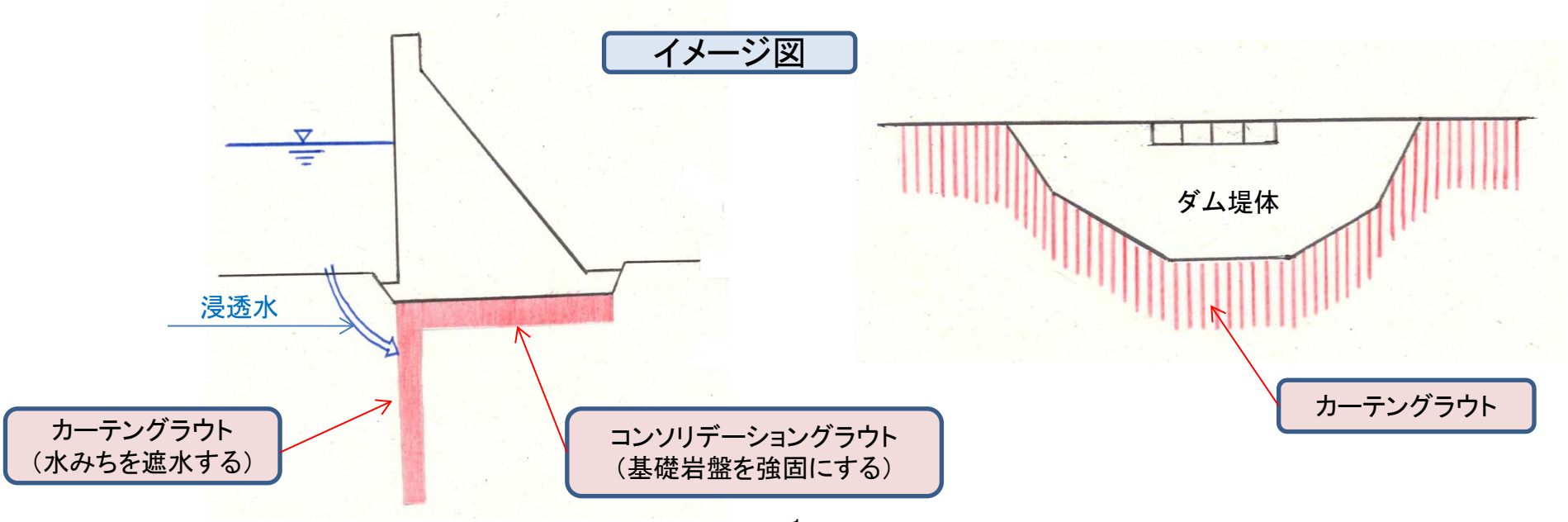
『 ダムの基礎処理（グラウチング） 』

コンクリートダムもフィルダムも、基礎岩盤を強固にしたり水みちを遮水するため、ボーリングを掘り、そこからセメントミルクを圧入し岩盤を改良する『基礎処理（グラウチング）』を行います。浅瀬石川ダムを例に、「コンソリデーショングラウト」と「カーテングラウト」をご紹介します。

《コンソリデーショングラウト》

ダムの基礎岩盤の強度や変形性を改良・一体化するため、ダム基礎全面に渡り岩盤上面から約10m程度の深さにセメントミルクを注入し強固にします。（基礎浅部の遮水効果も）

《カーテングラウト》

貯水池から岩盤を伝わってくる浸透水を遮水する目的で、ダム基礎や左右岸に、セメントミルクをカーテン状に注入し、難透水ゾーン（深さ約40m程度）を形成します。